

# 令和7年度 いろはさくら学園 志木市立志木小学校 学校経営方針

## I 学校経営方針の全体像

### 1 いろはさくら学園

#### (1) いろはさくら学園教育目標「文武両道」

「文」：自分の考えに基づいて、それぞれの目標達成のために自律的に学び続ける児童生徒を育成する。

「武」：心身ともに健康で、礼儀正しく自他尊重のコミュニケーションが取れる児童生徒を育成する。

#### (2) 目指す学園像

- ・児童生徒・保護者・地域社会から信頼される学園
- ・教職員同士が教育理念や実践を語り合うことのできる学園
- ・地域と学校が一緒になって児童生徒を育てていく学園

#### (3) 目指す児童生徒像

- ・主体的に考え、自律的に学ぶことができる児童生徒
- ・互いの良さを認め、高め合うことができる児童生徒
- ・礼儀正しく、心身ともに健康で逞しい児童生徒

#### (4) 目指す児童生徒像

- ・児童生徒にとっての最も身近な“大人のモデル”として、常に「率先垂範」の意識を持つ教職員
- ・自らの学習観に固執しない姿勢を持ち研鑽を積むことができる教職員
- ・中学校区全体の児童生徒に目を向け、一人一人の良さを発見、再確認できる教職員
- ・校舎を越えて互いに切磋琢磨し合える教職員

### 2 志木小学校

#### (1) 学校家庭地域目標

- 明るくあいさつのできる子
- 思いやりのある子
- 地域を大切にする子
- 意欲的に学ぶ子

#### (2) 目指す学校像

元気・生き生き輝く学校  
～意欲的に学び・あいさつ・思いやりを育む教育活動～

#### (3) 目指す児童像

- ・主体的に学び、自分を表現する児童
- ・互いのよさを認め合い、高め合う児童
- ・自分から笑顔であいさつする児童

#### (4) 目指す教師像

- ・個々の子供の学びを最大限に引き出す教師
- ・社会の変化とともに自身の指導観を見直す教師
- ・保護者・地域とともに学ぶ教師

#### (5) 目指す授業像

- ・児童が主体となる授業（振り返りと課題意識、学び方の選択、自己調整）
- ・学び合いのある授業（話し合い等の選択、合意形成、言語活動の充実）
- ・見方・考え方を働かせる授業  
（教科のめがね、学習のつながり…汎用性、新たな価値の創造）

## II 本年度の重点目標（7つの柱）

- |                      |                       |
|----------------------|-----------------------|
| 1 学年経営の推進            | (学年担任の意識化、取組)         |
| 2 授業改善への挑戦           | (個別最適な学び、協働的な学び)      |
| 3 豊かな心の育成            | (道徳教育の推進、生徒指導)        |
| 4 健やかな体の育成           | (体力の向上、健康の保持増進)       |
| 5 自立する力の育成           | (キャリア教育、小中一貫教育)       |
| 6 多様なニーズに対応した教育の推進   | (特別支援教育、教育相談)         |
| 7 家庭・地域と連携・協働した教育の推進 | (PTA・学校運営協議会、遊学館・図書館) |

### 1 学年経営の推進

- (1) 学級の枠を超えた学年担任の意識化
- (2) 「工夫・改善」を意識した学級・学年経営
- (3) メリハリのある教育

### 2 授業改善への挑戦

- (1) 「子供が考える授業」から「子供が自ら学びを進める授業」へ
- (2) 授業力向上の工夫
- (3) 読書活動の充実
- (4) 学校ICTの効果的な活用
- (5) 家庭学習の充実

### 3 豊かな心の育成

- (1) 道徳教育の充実
- (2) 人権教育の推進
- (3) 積極的な生徒指導
- (4) 学校マナーアップの展開

### 4 健やかな体の育成

- (1) 体力向上の推進

- (2) 健康教育の推進
  - 【学校保健】
  - 【食育・学校給食】
  - 【学校安全】
- 5 自立する力の育成
  - (1) キャリア教育
  - (2) 小中一貫教育（志木中学区）の推進
- 6 多様なニーズに対応した教育の推進
  - (1) 特別支援教育の充実
  - (2) 教育相談の充実
  - (3) 関係諸機関との連携
- 7 家庭・地域と連携・協働した教育の推進
  - (1) 積極的な情報発信
  - (2) 地域や関係諸機関との連携強化
  - (3) P T A、学校運営協議会

○学級経営を支える3つの基盤

- 1 潤いのある学級環境づくり
- 2 児童の安心・安全の確保と事故防止の徹底
- 3 信頼される教職員としての資質の向上

○教職員のサービスに関する心得

- 1 教育公務員としての自覚
- 2 説明責任を果たす
- 3 情報公開に対応する
- 4 危機管理
- 5 物品管理
- 6 学校事故
- 7 保護者との連携・協力
- 8 電話の応対